

平成26年度共同研究(第2回)募集案内

～製品化・事業化を目指す共同研究～

都産技研では、企業や大学・業界団体から共同研究のテーマを募集し、相互に経費と課題を分担して、新製品や新技術の開発を目的とした研究を実施しています。年2回募集を行っており、今回は第2回目の募集です。事前に都産技研の技術相談や依頼試験などの支援メニューをご利用いただき、担当職員とご相談の上で共同研究実施の準備が整ったものが対象になります。研究成果からは、数多くの新製品や特許が生まれていますので、本事業をご活用ください。

- 受付期間 平成26年9月1日(月)～平成26年9月10日(水)(土・日曜日は除く)
- 研究期間 平成26年11月1日～平成27年9月30日
- 採択テーマ数 20件程度
- 選考方法 書類および面接審査により実施
面接日は平成26年9月29日(月)、30日(火)、10月1日(水)を予定しています。

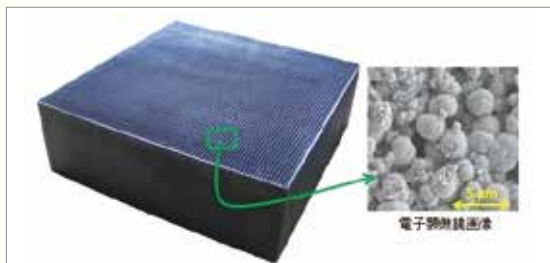
詳細は、<http://www.iri-tokyo.jp>をご覧ください。

共同研究成果事例

素材表面近傍へ元素を添加する方法

Co,Ce系酸化物を用いて新しい環境浄化用触媒を開発しました。下記①～③のような、従来の白金系触媒にはない利点があります。新装置や新処理技術の開発に利用可能です。

- ①酢酸エチルや酢酸など、従来の白金触媒が不得意とするVOCを容易に処理できます。
- ②ヤニやシリコンなどの触媒毒に対して、従来の酸化触媒に比べ耐性があり、長期間利用できます。
- ③価格変動の激しい貴金属を使用しないので、安定した価格での供給が可能となります。



ハニカム状Co,Ce系酸化物触媒の外観(左)と触媒粒子の様子(右)

ブラウン管ガラス発泡体によるリン酸リサイクルシステム

ブラウン管ガラス発泡体とは、ブラウン管テレビのパネルガラスを粉末状にしたものと、貝殻粉などの発泡剤を混合し、焼成してできた多孔質資材です。このブラウン管ガラス発泡体は、高いリン酸吸着能を有することで、排水中のリン酸除去に効果を発揮します。ガラス発泡体に吸着したリン酸は、溶離液による処理によってリンを回収し、リン酸肥料にリサイクルできます。リサイクルしたリン酸肥料は、市販肥料と同等の効果があります。また、溶離液・ガラス発泡体は、再利用することができます。



高いリン酸吸着能を有するガラス発泡体

■本事例の詳細は、「平成25年度技術シーズ集」に掲載しています。無料で配布しておりますので、発行・配布については、下記開発企画室までお問い合わせください。

【技術内容についてのご相談】

技術経営支援室 総合支援窓口(本部)

TEL 03-5530-2140

【申請書類についてのご相談】

開発企画室(本部)

TEL 03-5530-2528